

リ、コ、ヨリ海濱ノ方へハ一圓平地ニシテ、數十村アリ、其内大井村ハモツトモ海岸ニソヒタル村ナガラ、其内ニ小高キ岡モアリ、是ヨリハ海ギハマデ凡七八丁許ニテ、廣平ノ地ナリ、カノ村々ヨリ西北ノ方ハ、皆岡ツバキニシテ、郡ノ境ニ至ル、又目黒川ノ左右ニ水田アリテ、其幅四五十丁許ニテ、品川ノ方海濱マデ、行程一里アマリモウチツバケリ、ヨノ目黒川ヨリ豊島郡ニヨリタル岡ニハ、諸家ノ下屋敷或ハ商家ナドアマタアリテ、江戸ノ方ニツケリ、中又風俗ナドモ他郡ニコトナラザレバ、サシテシルスベキ事ナシ、

〔萬葉集二十〕天平勝寶七歲乙未二月、相替遣筑紫諸國防人等歌、

志良多麻乎、シラタマ氏爾刀里母之、ウヂニトリモシ美流乃須母、ミルノスモ伊弊奈流伊母乎、イヘナリイモ麻多美、マタミ毛母也、モモ

右一首、主帳在原郡物部歲德、略、中

和我可度乃、ワガカドノ可多夜麻都婆伎麻己等、カタヤマツバキマコト奈禮和我、ナレワガ氏布禮奈々、ウヂフレイナ都知爾於知母可毛、ツチニオチモカモ

右一首、在原郡上丁物部廣足、

豊島郡

〔武藏濱路二〕豊島郡 東限大川、西多摩郡、南在原郡、北荒川、其中豊洲縣、

〔新編武藏風土記稿九豊島郡〕總說

豊島郡ハ、國ノ東ノ方ナリ、倭名抄國郡部ニ、豊島ヲ訓ジテ止志末ト註ス、風土記殘編ニハ、豊島或ハ砥島ニ作ルト記ス、今見ニ豊島村アリ、是郡名ノ本郷ナルベシ、仁德紀曰、十八年庚申春、令戶田真人菟武藏國豊島郡得二頭之狐而歸奏云々、是郡名ノ國史ニ見ユシ始ナリ、天下ヲ七道ニ定ラレシ始メ、當國東山道ニ屬セシ頃ヨリ、當所ニ宿驛アリシ事、稱德紀ニ見ユ、曰、神護景雲二年三月乙巳、先是東海道巡察使式部大輔從五位下紀朝臣廣名等言、武藏國乘瀦豊島二驛、承山海兩路、使命繁多、乞准中路置馬十匹、奉勅依奏云々、此後四年ヲ經テ、光仁天皇寶龜二年十月、改テ當國ヲ海道ニ屬セラル、今按ニ、大古ハ武相ノ界ハ、山野ニテ人跡通ゼズ、故ニ海道ハ、相州ヨリ安房國ニ渡